



THE SERVICE CLUB OF YMCA
THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

札幌クラブ

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

EMC(Extension, Membership, Conservation)

— 主題 —

国際会長

「輝かそう、あなたの光を」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)

アジア会長

「変革のための光となろう」

利根川恵子 (川越)

東日本区理事

「未来のために今、学びと気づきを！」

山田 公平 (宇都宮)

未来のために、自信と喜びを感じる機会を！

北海道部部长

「楽しく仲良く活動しよう」

古賀 勝己 (北見)

札幌クラブ会長

「充実した人生を送るためのワイズ活動」

小野 健 (札幌)

札幌クラブ役員

会長 小野 健

副会長 小谷 和雄

書記 山崎 修

会計 秋葉 聡志

直前会長 伏木 康

今月の言葉

見つかる つながる 良くなっていく

(伏木 康選)

巻頭言 「若者に光を」

札幌クラブ 熊 敏彦



ある高校生は家庭の事情の中で進路に悩んでいた時、校門外で受け取った聖書を開いた時、「神は光、ひかりの中を歩きなさい」の言葉に触れ、自分が暗闇の中にいる状況に気がつき、近くの教会に導かれ洗礼を受け、大学卒業後、キリスト教伝道団体の職員として奉仕に専念している。またある牧師は中学生の時ギデオン協会の聖書を受け取り、救い主イエスキリストの言葉によって自分の進路を見出すことが出来たと話された。

多感な若者が人間を創られた神の言葉に触れる事はとても大事な事である、人間の言葉でなく、一人一人に相応しく与えられる聖書の言葉を伝える事こそ、先に選ばれた私たちの務めであり責任であると考え。ともすると人間の欲望を満たすことが幸せだ、日々面白く楽しく生活し、欲しいものを手に入れその事を自慢する生き方の虚しさに気づき、自己中心的な思いではなく、他人のため社会のために自分に何が出来るかを考える共育を行って行きたい。

最近の報道によると、10代のいじめ件数の増加や不登校生の数が目立っていて、自殺する若者が増えている。自分の役割、目標が見出せず、希望を失い絶望を感じ他人と比較して、自分の価値や存在感を肯定できない若者は少なくない、親や教師がどの様に接するか悩んでいる状態だ。人間は言葉が与えられている、どの様な言葉が若者に必要なのか考えなければならない。

2023年9月例会
出席報告

在籍会員 13名
ゲスト 2名

出席会員 12名
ビジター 0名

メネット 0名
出席者合計 14名

メーキアアップ 0名
出席率 92%

札幌ワイズメンズクラブ 2023年10月例会

日時：2023年10月17日（火）18:30～20:30

会場：北海道 YMCA 101 教室+リモート

会費：1,000円

司会 山崎 修

- ① 開会点鐘 会長 小野 健
- ② ワイズソング、ワイズの信条 全 員
- ③ 今月の言葉・なぜこの言葉を 伏木 康
- ④ 開会あいさつ 会長 小野 健
- ⑤ 誕生日 10月17日 柴田 伸俊
- ⑥ 結婚記念日 10月13日 森本武・絢子
- ⑦ 卓話

「2023年YVLF報告」

(ユース・ボランティア・リーダーズ・フォーラム)

リーダー 菅遙香さん & 藤野結衣さん

スタッフ 湯井達海さん

- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA報告 担主事 北川 佳治
- ⑩ 今月の歌

「Yesterday」



(山崎 修選)

- ⑪ 閉会あいさつ

札幌クラブ会長 小野 健

閉会点鐘 会長 小野 健

札幌ワイズメンズクラブ9月例会

日時：2023年9月18日（木）18:30～20:30

場所：札幌 YMCA101 教室

参加者：秋葉、小谷、小野、北川、熊、柴田、中田、
伏木、宮崎、本宮、山崎、安田、義村

(ゲスト：卓話者：笹尾美波、常世田尚志)

札幌クラブは、ニセコ・大阪の森本ワイズを除き全員対面で9月例会を行いました。8月例会で本宮会員の入会式を行いました。行事が立て込んでいたため略式になりましたので、9月例会で改めて正式の入会式をやり直しました。

卓話はYMCA 専門学校の笹尾美波さんから広島で行われた「ピースセミナー」報告、常世田尚志君からは「カナダ研修旅行」の報告をお聞きしました。

「今月の歌」では、宮崎ワイズが東京の大学時代、友人と2人で3畳間に下宿していた頃の思い出を含めてかぐやひめの「神田川」を歌いました。

YMCA チャリティイベント(バザー)

10月1日、YMCA チャリティイベントが開かれました。札幌クラブは毎年「カレーライス」、北クラブは「お握り」が名物で、売り上げに貢献していたのですが、今年は食品関係は自粛、コーヒーと十勝クラブの中村ワイズ寄贈のジャガイモ販売とコーヒーでした。

写真下：左から、小野、中田、柴田、秋葉



何故この歌を！ 山崎 修

僕が生まれた翌年に作られた曲です。世界的に有名な曲ビートルズの曲の中でも最も長く愛されている曲です。その理由の一つは、この曲が分かりやすい平易な英語で書かれていることだと、聞いたことがあります。

私でも英語で歌えます。

何故このことばを！ 伏木 康

YMCA のブランドスローガンです。

ユースリーダーボランティアフォーラムのテーマもこの言葉でした。

英語では Encounter Connect Transform です。

山中湖へ行って、ユースと出会い、つながりが生まれました。あとはよくなっていきます。

札幌クラブ会員 過去、現在、未来、そして願い、夢、を語る その2

東山荘よ 永遠に！

義村 小夜子

私がワイズを知ったのは、結婚したら本人の気持ちに関係なく、メネットとなり、ワイズのクリスマスやリーダー接待など手伝いました。

主人がワイズ活動に入ったのは小樽商大の学Yの四年の時、東山荘での全国学 Y に参加し、自分が「井の中の蛙」なのを知り、社会を見つめるきっかけとなり、東山荘は「心の故郷」のようで、私も姪の結婚式で状況の際、東山荘へ行き、黙想館からの富士は刻々変わる絵のようで、好きな讚美歌「山辺に向かいわれ目をあぐ」が口をついて歌っていました。

主人は 193 年、ソウルのアジア大会庄出席、国際大会には早くから参加し、終了後ホームステイで楽しい交流、ワシントン国際大会には中学 1 年の息子を連れて参加。ホームステイや大会の様子など、夏休みの宿題作文で、中学文集「これ」で大賞になったことなど、忘れられない思い出です。

子供たちが大学卒業後は、国際大会、アジア大会、日本区大会に必ず参加、楽しく有意義な日々でした。初参加の藤川夫妻と参加し、香港大会で日本語の出来る台湾の皆さんと知り合い、韓国のミンドレクラブとの交流し、国際大会での再開も大きな楽しみでした。

海外でのホームステイの経験は、札幌に来た学生やチミケップリーダーなどを我が家で泊まってもらい、主人が会話が出来たので長年続けました。

札幌でワイズの会員となり、転勤各地での会員。福岡で喀血。手術後、義父の残務整理で札幌に戻り、体力のない体に合わせ、小樽クラブ、札幌西クラブ、札幌北クラブの設立に力を注ぎ、又そのクラブの後始末に力を注ぎました。

主人の死後、私はメネットから会員になりましたが、持病悪化の為活動は出来ませんが、バザーのおにぎり店は北ワイズのメネットと力を合わせて続けました。残り少ない人生ですが、自然の中で何もない東山荘そのままに、次世代へ引き継ぐささやかな力を願い、「東山荘友の会」の会員になりました。

いつまでも自然の美しい東山荘で、子供や人々の触れ合いが続くように祈っています。

リスクマネジメントについて 宮崎 善昭

リスクマネジメントは、危機管理とは異なる。危機管理は、悪い状態になってしまったときにどう考え、どう行動するのかを予め設定しアクションを起こすことを言うらしい。

リスクマネジメントは、悪い事態の抑止を目的としている。自然に我々は100%悪い事態が発生しないことを考えてしまいがちである。つまり二度とこの様なことが起こらないようにということであるが、現実そんなことは、あり得ない。では、どうするのか？どの程度抑止できるのかを設定するのである。悪い事態の因子を分析し発生率を設定、その上で発生が最小限になるような抑止策を考えていくのが現実的ではないか。心情的には「二度と起こらないように」は理解できるが、古今東西人間の歴史を見ても不可能であるといつてよい。

人間は、ルールを破ってまでも自分の欲求を満たそうとするらしい。であるならば、欲求の存在を前提にしたルール作りが最も現実的な方法ということになるということだ。旧約聖書の時代からちっとも進歩していないではないか。何か、惨めな気持ちになるが、謙虚にこの事実を受け止めるべきか。

「ワイズメンとの出会い」

小谷 和雄

札幌クラブ1年生の小谷ですが、なぜか副会長の役を頂いています。私がワイズとの出会いは古いのです。1982年の7月、札幌北クラブの例会にて入会しました。2代目会長の保田博さんの「会長就任祝い」でワイズに引き込まれたのが事実です。保田さんとは同じ会社で、顔見知りでした。本来なら保田さんを知らないはずだったのです。私は土木屋・橋の設計部に所属。保田さんは農業部門・畜産経営関連の仕事を担当し、別世界の人でしたが、ヒョンなことで私が保田さんの仕事の手伝いをしたのが付き合い始めです。私が電子計算部に移籍し、橋梁部で必要とするソフト開発を担当していた時、保田さんの畜産経営計画のソフト開発の仕事が舞い込み保田さんと付き合いが始まり、「3月にニセコスキーツアーに行きませんか？」と誘われ、「ワイズとか YMCA のツアー」とか言っていました。が何のこたなのかは分からないまま、スキーが出来れば良いと思い参加しました。スキー場はニセコワイズスキー場、宿では初代会長の北本巖さん、九代目会長となった田山耕平さん、保田さんの4人部屋でした。残業が多い職場でボランティアを知らない私でしたが、「YMCA」に反応し祖父が独立教会員だったこと、新渡戸稲造の門下生で遠友夜学校にて奉仕をしていたと語った途端に、北本会長に火が付いてしまい、「札幌北ワイズの4月例会」に出席しないかと誘われ毎月の例会に出席し、保田さんのキックオフ例会で入会式を済ませ、ワイズの仲間入りした次第です。札幌北クラブの2年目でした。

1. 札幌 YMCA 短期集中ウインタープログラムのご案内



冬の冬休みの体験活動と良き思い出を
YMC A 短期集中ウインタープログラム
10月26日より開催致します。

スキースクールをはじめ、バリエーション豊富なラインナップをご用意して皆様をお待ちしております。冬休みも、是非YMCAにお越しください！

お申し込み方法:

札幌 YMCA 受付・TEL: 011-561-5217・

ホームページ:



2. 国際協力チャリティーイベント

去る10月1日(日)に札幌にてチャリティーイベントを実施しました。泳ぎ・跳び箱プライベートレッスン、ヒーロー大会、縁日コーナー、ビンゴ大会、ダンスクラス発表会などを展開しました。

札幌ワイズは、恒例のワイズコーヒー並びに、十勝ワイズの中村義春メンから頂きました「じゃがいも」を販売しました。

全体で12万円の益金を目標にしていたところ、30万円強の益金(内、札幌ワイズ11,050円の売り上げ)を得ることができました。益金は、主に、ベトナムの子ども達の教室建設費用に使用されます。皆様のご協力に感謝申し上げます。



日時:2023年10月3日(火)19:00~20:00

場所:札幌 YMCA 総主事室+オンライン

出席者:小野(長)web、秋葉、小谷、北川、中田、伏木、宮崎、本宮、山崎 web

1. 10月例会について

日時:10月17日(火)18:30~20:30

場所:札幌 YMCA 101 教室

卓話:YVLF 報告 卓話者:リーダー菅遥香・

藤野結衣・スタッフ湯井達海

特記:①秋葉出張のため欠席。弁当は前日までに手配。

②二本松さん参加希望。オンラインの準備。

秋葉会議 ID 配信、北川セッティング

2. 札幌 YMCA 国際チャリティーイベント報告

10/1(日)10:00~14:00 チャリティーイベント開催。

参加者:小野、秋葉、本宮、柴田、中田

・ワイズではコーヒー、十勝中村さんのジャガイモ販売。売上10,150円。

3. 11月以降の例会卓話について(案)

▼ 11月「ベトナム・ボランティアワークの旅」佐藤、川口、伊藤

▼ 12月「望年会例会」ひだまり亭、汝羊寮寮生招待を検討

▼ 1月 新内鹿兒島 Y 総主事「チアダンス世界大会への路」

or 学 Y 高井理事「トルコ地震現地リポート」

▼ 本宮会員卓話「私の活動・ビジネス」

4. 2月以降の活動、御艇、準備など:

12月「望年会」に向けて、学 Y10月例会(10月20日)に小野会長参加し寮生に声掛け。11月 YM/YW 合同祈祷週集会(11月17日@クリスチャンセンター)にワイズメン参加し顔の見える関係をつくる。

5. 時計台コンサートの準備について

・安田メンよりチラシ案が提示され確認。琴ユニット「アルメリア」あてチラシ案を配信し校正確認。

記録:秋葉 短縮版作成:中田



札幌ワイズメンズクラブ 2023年10月例会